

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2007年度
Bコース(備品購入応援コース) 助成事業報告書

平成 20 年 3 月 1 2 日

団体名(ふりがな) 特定非営利活動法人ふるま・ねっと・みやぎ	
購入物品名 プロジェクター	
連絡担当者お名前(ふりがな) 戸田紘子(とだひろこ)	
担当者 電話	F A X
E-Mail	
助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 (購入した物品の写真は必ず添付してください。)	
<p>当法人の主たる活動である出前講座や講演会・研修会において、現在では必須とも言えるプロジェクターを助成金によって購入することができ、使い初めが設立 3 周年記念公開フェア(平成 19 年 11 月 10 日)となったことは、望外の喜びであった。</p> <p>その後年末から年度末にかかり出前講座での使用はないが、研修会では定期的に使っている。新年度に向けて講座の申し込みが増えてくると思われるので、今後は有効に活用していくことができると考えている。</p>	
今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか	
<p>まだ、購入後の使用機会は少ないが、新年度の活動として比較的規模の小さい県内市町村や地区での「出前講座」を進めていく予定なので、今後の成果・効果は十分に期待できると考えている。</p>	

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

今後の活動として県内各市町村での出前講座を進めていく方針なので、プロジェクター等の設備がない施設や集会などでの利用頻度は高まると考えている。

講座では当法人作成のキストを使用しているが、写真や新しい情報はパワーポイントを用いた映像がより効果的なので、併用することによってより分かりやすい情報伝達が可能になると思っている。

当法人の主たる活動である「出前講座」は基本的に主催者側からの「出前注文」によって成り立つ。これまで県内市町村に対する活動 PR は十分ではなかったが、この度 PR 用パンフレットが出来上がったので、早速担当部局にご案内したところである。

出前講座では、講座主催や受講生募集において、行政やマスコミとの連携が必要なので、この点についても働きかけたいと考えている。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	
自己資金	22,716	
合計	122,716	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
プロジェクター 本体	119,980	PLUS（加賀）製、KG-PS120X
付属品	2,736	延長コード
合計	122,716	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

「正しい情報の伝達」を活動目的とする当法人にとって、分かりやすいテキストや映像は欠かせないものであります。設立以来4年目に入っていますが、小規模な出前先などではプロジェクターなどの映写設備がないところも多くあります。この度の助成をいただいたお陰で、有効なツールとしてのパワーポイントなど映像が使用できるようになり、より効果的な講座が開けることになりました。心から感謝申し上げます。